

**平成24年度県立学校経営予算プレゼン枠事業レビューシート**

学校名	岡山県立岡山城東高等学校
事業名	グローバル人材の育成
事業の必要性・テーマ	<p>テーマ 「文化の違いを理解し合い、協力して望ましい未来を切り開く人材の基礎となる資質・能力を身につけるための「学び」を開発・構築する。」</p> <p>事業の必要性</p> <p>① 環境問題・エネルギー問題など、人類は国を超えた議論を要する課題に直面している。世界の人々と議論をし、協力して課題解決に当たる力を備えた人材の育成が求められている。</p> <p>② 経済・社会がグローバル化する中で、より良い社会を構築していく力を備えたグローバルリーダーの育成が急務となっている。</p> <p>③ ユネスコの「ESD」、文部科学省の「グローバル人材育成」の研究や、岡山県の「夢づくりプラン」での人づくりなど、学校教育での「グローバル人材育成」の取組が求められている。</p> <p>④ 本校は、開校以来「国際化」に対する教育実践を積み重ねてきている。</p>
事業の概要・進め方	<p>① 平成23年度</p> <p>(1) 慶南外国語高校(韓国慶尚南道)、金海外国語高校(同)および慶南藝術高校(同)、晋州女子高校(同)を視察訪問し、状況を把握した。</p> <p>(2) 総合的な学習の時間で「地球規模の課題」に関する学習に取り組むために、「ESD」の先進的な取組をしている高等学校2校を視察した。</p> <p>② 平成24年度</p> <p>(1) 新教科目「グローバル・スタディーズ」「グローバル・ミュージック」の目標・内容・内容の取扱いを決定し、シラバスを作成する。その中で韓国高校生との共同学習を行うが、そのための協議を進める。</p> <p>(2) <b>韓国高校生との学習交流を含む学校行事を実施するため、韓国高校生との学習交流の可能生や、韓国での視察先の調査を行う。</b></p> <p>(3) 総合的な学習の時間において、「地球規模の課題」についての学習を取り入れる。</p> <p>(4) 国の事業を活用して英語力を強化する授業の工夫改善を進める。また、「理科ゼミ」等の成果を英語でまとめ発表する。</p> <p>(5) 動機付けとなる様々なactivitiesの工夫として、海外語学研修(英語圏)、海外留学、ディベート大会やスピーチコンテスト等への参加を積極的に推進する。</p> <p>③ 平成25年度</p> <p>(1) 教科「グローバル・スタディーズ」「グローバル・ミュージック」の本格実施。</p> <p>(2) 「韓国研修」の実施。</p> <p>(3) 実施事項の検証、改善・工夫。</p> <p>(4) 国際バカロレア認定校、インターナショナルクラス、国連・JAICA等国際機関の視察、国際協力体験プログラム参加等の研究。</p>
達成目標	<p>(1) 教科「グローバル・スタディーズ」「グローバル・ミュージック」の指導計画が完成する。</p> <p>(2) <b>韓国高校生徒との交流(試行)を踏まえて、交流の本格実施のプログラムが完成する。</b></p> <p>(3) 総合的な学習におけるESDの取組が成果を上げ、生徒の世界への意識が高まる。</p> <p>(4) 文部科学省の研究指定校として、CAN-DOリストを作成をするなど、英語力強化の取組を地域に発信する。</p> <p>(5) 学類研修や様々なactivitiesによる海外体験を通じて世界への意識を高めることができる。</p>

**平成24年度県立学校経営予算プレゼン枠事業レビューシート**

<p align="center">実績と成果</p>	<p>平成24年度の実績と成果</p> <p>①新教科目「グローバル・スタディーズ」「グローバル・ミュージック」の目標・内容・内容の取扱いが決定し、シラバスも作成できた。</p> <p>②韓国高校生との学習交流及び演奏交流について、国際教養学類と音楽学類で、25年度からの学類研修の実施に向けた試行訪問を行った。参加した生徒は、韓国高校生の語学力の高さや積極的で旺盛な学習意欲を目の当たりにし、大きな刺激を受けることができた。</p> <p>また、1. 2年次生全員を対象に成果報告会を開催したことから、訪問校の様子や交流の成果を伝えることができたことで、本格実施に向けた下地ができた。</p> <p>人文社会学類と理数学類においては、学類の特性や効果のある研修先を開拓するための情報が収集できた。</p> <p>また、2月に韓国を再度訪問し、国際教養学類と音楽学類の研修日程が確定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国際教養学類             <ul style="list-style-type: none"> <li>実施期日：平成24年10月28日～30日 2泊3日</li> <li>参加者：国際教養学類2年次生徒 8名(セレクションを実施し選抜した生徒)</li> <li>・引率教員 3名</li> <li>訪問先：慶南外国語高等学校及び金海外国語高等学校</li> <li>内容：日本語授業参観・英語授業参観・日本語科生徒との交流・日本文化及び岡山城東高校紹介</li> </ul> </li> <li>●音楽学類             <ul style="list-style-type: none"> <li>実施期日：平成24年10月25日～27日 2泊3日</li> <li>参加者：音楽学類2年次生徒 5名(セレクションを実施し選抜した生徒)・引率教員 3名</li> <li>訪問先：徳園藝術高等学校</li> <li>内容：伝統舞踊体験・音楽科授業参加・交流演奏会・オーケストラ授業参加及びホームステイ</li> </ul> </li> <li>●人文社会学類・理数学類             <ul style="list-style-type: none"> <li>派遣期日：平成24年10月28日～30日 2泊3日</li> <li>派遣者：人文社会学類担当教員1名</li> <li>理数学類担当教員1名</li> <li>訪問先：慶州市(仏国寺・慶州博物館等)・現代自動車工業・金海外国語高等学校等</li> </ul> </li> </ul> <p>③総合的な学習の時間におけるESDの取組については、1年次生を中心に外部講師の講演や、本校教員による講演会を実施し、環境問題や他国の教育事情などの研修を行うことができ、生徒の世界への意識を高めることができた。</p> <p>④文部科学省の研究指定校として生徒の英語力強化の取組に関する調査研究を行っており、CAN-DOリスト、英語力検証方策、英語合宿運営のマニュアル等を作成した。</p> <p>⑤「高校生太平洋島サミット」や「アジアユース人材育成プログラム」など海外体験を含む活動に多くの生徒がチャレンジすることができた。また、岡山県英語ディベート大会に参加し3位の成績を収めた。</p>	<p align="center">達成率</p>	<p align="center">90%</p>
<p align="center">今後の課題</p>	<p>平成25年度実施事項及び検討事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新教科「グローバル・スタディーズ」と「グローバル・ミュージック」の円滑な実施。</li> <li>●国際教養学類の韓国外国語高等学校との学習交流の実施と26年度に向けての交流プログラムの再検証。</li> <li>●音楽学類の韓国藝術高等学校との演奏交流の実施と26年度に向けての交流プログラムの再検証。</li> <li>●人文社会学類と理数学類において、知的好奇心を高める学類研修(海外体験)の開発。</li> <li>●国の英語力強化拠点校事業の継続実施。</li> <li>●1年次での取組をさらに発展させた、総合的な学習におけるESDの取組を2年次で実施。</li> <li>●グローバル人材の育成を意識した学類ごとのコア科目を中心とした取組の実施。</li> <li>●海外語学研修など様々なactivitiesの推進。</li> </ul>		

平成24年度県立学校経営予算プレゼン枠事業レビューシート

学校自己評価	5段階評価	5 ・ ④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
	次年度以降の継続性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際教養学類と音楽学類においては、来年度以降継続して、学類研修として韓国高校訪問を実施する。</li> <li>・人文社会学類、理数学類においても、韓国を視野に入れながら、海外での学類研修を開発する。</li> </ul>
主管課評価	5段階評価	5 ・ ④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
	見直しの余地 改善提案等	<p>国際教養学類、音楽学類の生徒が韓国を訪問し、韓国高校生と行った学習交流や演奏交流で成果をあげ、訪問後には報告会を開催し、訪問校の様子や交流の成果等を他の生徒と共有するとともに、来年度以降の学類研修旅行における交流プログラムに道筋をつけることができた。</p> <p>来年度から開設する学校設定科目は、韓国高校生との交流を意義あるものとする計画となっており、教育活動全体としての取組が期待できるものと評価する。</p> <p>今後、人文社会学類や理数学類の生徒も含めた全校での取組に発展することが期待できる。</p>
委員評価	5段階評価	5 ・ ④ ・ 3 ・ 2 ・ 1
	指摘・指導・助言	<p>グローバル人材の育成という難しいテーマに対し、制約が多い公立学校という枠の中で可能な限りの挑戦をし、当初の計画通りの成果を上げている点を評価したい。</p> <p>さらに、実際に交流を体験した生徒が、自分なりに「世界に立つ」ことを学び、その体験や思いを学習成果として他の生徒へ波及させるとともに、次年度以降のさらなる取組への礎としたことは、大いに評価したい。</p> <p>このプロジェクトが、岡山城東高等学校の新しい出発点になることを期待するとともに、今後は、さらなる気概と展望をもって取組を進めていただき、グローバル人材育成のリーダー校としてさらに発展されることを期待したい。</p>

\* 太字; プレゼン枠対象の内容